

コラボアート(地球・環境)

東京大学地震研究所
火山噴火予知研究センター 助教

森田 雅明



profile

東京大学理学部での卒業研究をきっかけに火山に深い関心を寄せ、同大学博士課程へ進学。修了後は産業技術総合研究所に就職し、5年にわたってさらに探求を深め、現職へ。

事業：火山活動や火山噴火メカニズムの解明に向けた観測研究 など

所属：東京大学地震研究所火山噴火予知研究センター

趣味：ドラマ鑑賞、二人の子どもと過ごす時間がリラックスタイムです。

火山研究という仕事の醍醐味は？

まず純粋に、火山活動という地球規模で生じる現象にワクワクします。地下では何が起きているのか。日頃の研究やフィールドワークでは、そんな好奇心が突き動かされます。そして、こういった研究が噴火や地震への防災に繋がれたら嬉しいですね。

彦坂さんとは東大アメフト部の同期なんですね！

はい。卒業後も交流が続き、この芸術祭にも誘ってもらいました。大学や研究といったアカデミックの世界は馴染みが薄いかもしれませんが、私たちの仕事は皆さんの暮らしにリンクしています。アートを通してそれを分かりやすく伝える場にしたいです。

芸術祭ではどんな出展をお考えですか？

お子様にも楽しんでもらうために、パネルや映像といった展示はもちろん、実験や工作ができるようなワークショップも考えています。過去に小学校訪問やオープンキャンパスなどお子様の学べる場にも関わっていたため、その経験も活かしたら嬉しいです。

今後のお仕事の目標を教えてください。

まずは、情熱を注いできた火山研究をさらに進めること。そして、自然科学や地球環境のことを広める活動を行いたいです。私たちの研究もその先の環境保護も、皆さんの理解や「地球を守りたい」という思いがあってこそ前へ進むと信じています。



コラボアート(地球・環境)

みなこし商会
代表取締役
南越 孝

profile

日本のリユース・リサイクル課題に着目し、みなこし商会を設立したベトナム出身の父の元に生まれる。大学卒業・アメリカ留学を経て2012年に入社。2025年に2代目代表取締役へ就任。

事業：中古機器類の輸出・リサイクル非鉄金属卸売業
所属：日高市商工会、川越市商工会
趣味：バドミントン、家族とのレジャー

リユース・リサイクル事業の醍醐味は？

誰かにとっての不用品が、他の誰かの役立つ何かに生まれ変わる。そんなお手伝いができることです。例えばホテルで回収した大量の古くなった液晶TVや食器は、他国で修理されて再び商品に。利益だけでなく、世界レベルで人の役に立てる仕事なんです。

Hikariba芸術祭へ参加したきっかけは？

実はずっと子どもが楽しめるリサイクルの啓発イベントを自社で開催したいと考えていました。そんなとき、長年の友人である彦坂さんに声をかけられて。アートを通じてリサイクルに親しみを感じられる空間を一緒に作ろうと参加しました。

2026年のテーマ「揺らぎ」について思うことは？

「移り変わる」という意味では、この業界とは切っても切り離せないものです。時代が変わって生活が変われば不要になるものがある。そして地域や環境が変われば価値あるものになる。この揺らぎを見極め、啓発もビジネスも進めていきます。

Hikariba芸術祭2026で叶えたいことは？

まずは子どもを持つ父として、子どもがもっと遊びに行けるイベントを増やせたらなと。そして環境問題も担う企業として、年齢問わずリユースやリサイクルの大切さを学べる機会を作る。そんな使命感を持って取り組んでいきたいと思います。

コラボアート(地球・環境)

Inspire-ENG

代表

下條 桃子



profile

短期留学で子どもが楽しく学べる海外の教育に興味を持ち、アメリカの大学へ進み教育心理学を専攻。「地球を居場所に。」をビジョンに、2024年にLOVE LIVE (現Inspire-ENG) を設立。

事業：英語コーチング、日英通訳、留学支援

所属：BNI

趣味：ハイキング、温泉 (サウナがあったら最高!)

海外や英語教育に興味を持ったきっかけは？

高校時代にイギリスへ短期留学したとき、日本の授業との違いに驚きました。そこでは、教科書を使わず議論を重ねたりしながら生徒が積極的に学んでいて。日本でもこんなクリエイティブな学習環境を提供したいと考え、英語教育の道へ進みました。

英語コーチングの醍醐味を教えてください。

成長を一緒に喜べることです。ある小学生の女の子も、最初は英語が大の苦手でした。けれど今は自分より年上が多く受ける英検3級にむけて勉強中。友達も彼女の影響で英検を受け始めています。自信を持てるようになった彼女の姿が嬉しくて。

2026年のテーマ「揺らぎ」について思うことは？

思いが揺らぐ瞬間は誰にでもあります。こういう葛藤は、「諦めたくない」といった強い気持ちから来るものなのかなと。コーチングでも悩み相談を受けますが、その思いを否定するのではなく、受け止めて一緒に考えることを大切にしていますね。

Hikariba芸術祭2026で叶えたいことは？

英語を習得した先にどんな世界が待っているか。それを子どもたちが知れるような機会を作りたいです。受験のためではなく、世界や未来を広げるための英語。どんなアート作品でその魅力を伝えられるか、私も楽しみです！